

崩壊熱核データ評価W.G.サブグループ会合議事録

昭和51年9月7日 13:30-17:30

原研東京本部第22会議室

出席者 宝珠山健(MAPI)

村田徹, 飯島俊吾(NAIG)

松本純一郎, 田坂完二(原研)

中嶋竜三(法大)

1. 核構造データ収納ファイルについて

松本, 田坂両氏が行なつた核構造データ・リトリブの結果を詳細に検討した結果, 1, 2の点で若干の修正が望ましいが, 全体的にみて一応使用できる形に完成したものと判断された。インプット形式について, ほぼ最終的な案が宝珠山氏より提出された。

この核構造データ収納ファイルのマニュアルを宝珠山, 松本, 田坂氏が纏めて, レポートを作成することになつた(10月中)。

2. 核構造データ収集作業について

松本, 村田, 宝珠山氏がNucl. Phys. を, 中嶋がPhys. Rev. を調べ, 1976年の分より始めて逆戻りすることとした。

3. 今後の予定について

来年なかばまでに, 新しい実験データとGROSS-Mによる推定データとを使用して1976年度版の崩壊熱計算結果を出すように努力する。

4. NEACRPに対するレポート作成について

田坂氏が集めている日本における崩壊熱測定と評価の計画を, NEACRPに対する報告の形にまとめる作業を9月17日(金)東京で行なうことにした。出席予定者は, 飯島, 田坂, 中嶋で, 動燃との話し合いによつては動燃の人に出席してもらう。